

施策番号	施 策 名	予算額(百万円)
640	行政評価機能の強化	103
<p>【目標】 生活者起点、成果、効率性、適法性などの観点から、県の施策や事業の妥当性について評価し、その結果を施策、事業に的確に反映していくため、行政評価機能の強化を図ります。</p> <p>この機能の強化にあたっては、行政活動が住民の要望や社会経済情勢に対応しているかを検証するための事前評価と、評価結果を県のあらゆる行政活動に反映するための事後評価の両面からその強化を図ります。</p>		

これまでの取組

事務事業評価システムについては、立案(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、見直し(Action)のサイクルが円滑に機能する「政策推進システム(仮称)」の構築に向けて、総合計画「三重のくにづくり宣言」の政策体系・数値目標と一致するように事務事業評価システムの改定の方針を検討しています。公共事業評価システムの開発については、各事業の効率性、効果による優先順位を明確にするため、費用便益分析手法を基に、総合評価する手法を構築するとともに、公共事業の再評価については、26箇所について、対応方針を決定してきたところです。

平成13年度の取組

平成13年度においては、事務事業評価システムをバージョンアップし、総合計画「三重のくにづくり宣言」の進行管理と一元化した「政策推進システム(仮称)」の機能の一部を担うように拡充するとともに、県民から見た評価の高い行政経営の実現を目指した改善に取り組みます。また、公共事業のより一層の透明性・客観性の確保を図る観点から、着手前の事業を評価する「公共事業評価システム」を運用し、事業着手後一定期間を経過した事業については再評価を実施します。

主な事業

- 1 事務事業評価システムバージョンアップ事業 (20,926(20,926)千円)
【(101)事務事業の評価】〔総務局〕
評価システムと総合計画の整合を図り、施策レベルの評価を導入します。また、事務事業レベルでの多様な評価手法導入を検討するとともに、新しい評価の仕組みに関する情報提供システムを構築します。
- 2 行政経営品質向上事業 (18,365(18,365)千円)
【(101)事務事業の評価】〔総務局〕
顧客である県民から見た価値の高い行政経営の実現を図るため、行政経営品質の向上を目指します。

主な見直し項目

ベンチマーキング支援事業は、支援方法を見直し、経費を削減。なお、地域機関へも本格的に事業展開。